

●国際ロータリーテーマ



SABAE ROTARY CLUB

●クラブ活動方針

2015.7-2016.6

塩梅よく

会長 小部 隆充
幹事 大橋 良史

●本日の例会

●R1第2650地区スローガン 『クラブに「個性」と「憧れ」を!』

点 鐘 18:30~
四つのテスト
ロータリーソング斉唱
会長の時間
幹事報告等

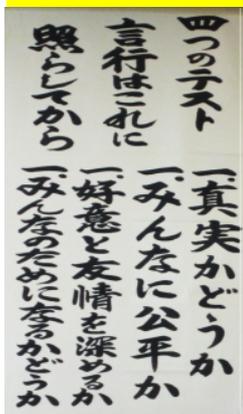
●第2736回 平成27年12月25日(金)

12月夜間忘年例会

於 サバエ・シティーホテル 1階

▼第2735回例会報告 平成27年12月18日(金) ▼鯖江商工会館 3階中ホール 出席率 81.5%

四つのテスト



R-O-T-A-R-Y

佐野 直美 ソングリーダー



米山 功 労 者 表 彰



写真右から 窪田健一・大島恒彦・大橋良史会員

お客様の紹介と会長の時間(年次総会)



本日のお客様。鯖江市OC課、代表、吉村明美様(写真右)。後ほど卓話をお願いする。ようこそいらっしゃいました。心から歓迎申し上げます。



今年の漢字について。2015年の世相を一字で表す「今年の漢字」が「安」に決まり、日本漢字能力検定協会が15日

京都市東山区の清水寺で、発表しました。協会によると、応募総数は129,647票で、1位の「安」は5,632票。森清範貫主が「清水の舞台」で、縦1.5m、横1.3mの越前和紙に特大の筆で揮毫。

安全保障関連法の審議過程に国民の関心が高まったことや、世界で頻発するテロが人々を不安にさせたこと等が、理由に挙げられた。

2位は「爆」(4,929票)、3位は「戦」(4,556票)。それぞれ「爆買い」と「戦後70年」等が理由。4~10位は「結」「五」「賞」「偽」「争」「変」「勝」。

森貫主は「来年は安全な社会をつくっていきましょう」と話しました。

今年の漢字は1995年に始まり、21回目。昨年は消費税が8%になったこと等から「税」が選ばれた。

安倍首相がテレビで、「私の名字の、安、に決めてもらいたい。なお、安倍の、倍、はバイなので、安が二重になる」とコメント。以上、紹介申し上げます。

幹事報告



・待望の新入会員の件。昨日、緊急に持ち回り理事会で確認と意見願った候補者を紹介する。お二方。野呂和夫氏(株式会社のと動物病院院長・代表者)獣医師、鯖江市下野田町、推薦者は田村副会長、窪田会員。瀧谷えみ子氏(トレンドスマイル代表)ウェブ構築、鯖江市吉谷町、推薦者は、私、大橋と帰山副幹事。両名の情報は、会場後ろの掲示板に掲示。本日から1週間、異議なければ入会承認となる。異議がある方は、私まで連絡願いたい。

大橋 良史 幹事

・12月忘年例会の件。12月25日(金)18時30分、点鐘。サバエ・シティーホテル1階にて開催。

・1月9日の新年家族例会、4月3日の地区大会の出欠表を後ろに用意。特に地区大会は、1月22日以降、キャンセルができないので、確実な出欠をよろしく願いたい。

ニコニコBOX報告

(敬称略・順不同)

- 1 小部 隆充
- 1 帰山 明朗
- 2 大橋 良史
- 3 窪田 健一
- 4 瀧ヶ花 秀晃
- 5 園 幸雄
- 6 岡本 圭子



- 1 : 吉村様、ようこそいらっしゃいました よろしくお願ひします
- 2 : 1、新入会員承認よろしくお願ひします
- 3 : 米山功労賞を頂いて。体調には気を付けて
- 4 : 誕生祝を頂いて
- 5 : 勤続表彰を頂いて
- 6 : お休みすみません

卓話 鯖江市OC課代表 吉村 明美 様

テーマ 「OC課という選択」



課

最初に、OCとは、おばちゃんを略したもの。私が考えた。新しい切り口で活動したかったので「何それ？」と、思ってもらえる名前にあえてした。

立ち上げは、昨年6月。ロゴマーク（左上マーク）は、メンバーがメガネをモチーフに下絵を描き、学生団体withの大学生と一緒にデザイン。メガネのまち鯖江の「おばちゃん課」を表現し、とても気に入っている。

■JK課とOC課

よく、JK課と並べて話題に出される。以前、ある新聞が「姉妹ユニット」等と、紹介。「AKBじゃあるまいし」と、笑った。JK課は、鯖江市が作ったプロジェクト名。メンバーは女子高校生。OC課は、市と無関係の任意団体で、メンバーはおばちゃん。どちらも自分から参加したいと手を挙げたメンバーで構成。

実は、JK課ができる時に「そんな俗称を使うなんて、ふざけている、だいたい女子高校生に何ができる」と、いう意見が寄せられた。「そんなことで潰されては困る、応援しなくては！」と、思った。

私は、かねてから、新しい女性のグループを作りたいと考えていた。そこで、OC課というのを作れば「何だか知らないけれど、鯖江って変わっているな、面白いな」と、思ってもらえる。JK課への風当たりが減ると思った。これは、とても効果があったようだ。

そして、女性ならではの視点と発想、ネットワークで、鯖江を元気に住み良くしたい。また、「女性が楽しく輝いて社会参加できる新たな活動形態、ゆるやかな組織や仕組みを作りたい」と、思う。

■ゆるいグループづくりと特徴

OC課を立ち上げたきっかけは「鯖江市役所JK課に発発されて、おばちゃんもやるか・・・」と、いうことになっている。その通りだが、おかみさん会や商工会議所女性会、各種女性団体の皆さんの活躍が素敵だった。少し前から、そういう会に入っていない女性たちのパワーを生かせる、ゆるいグループを作りたいと思っていた。

私たちの世代の女性は、子どもが手を離れ、まわりのことに目を向けられる。これまで、仕事や家庭、PTA、地域の活動をいろいろやってきた。知識や経験、ノウハウを持っている。友人・知人が多く、ネットワークが広い。お喋り大好きなおばちゃんは、情報交換が得意。生活者目線で、まちづくりやいろんな社会のことについて、問題点を見つける目ざとい目を持っている。

そして、それ等を不満に思うだけではなく、世間話の中でどうしたら良くなるのか、改善策を考えるのも得意。基本的に世話好き。お節介を焼きたくなる。

そんなおばちゃんのパワーを発揮できる、アイデアの発信ができる、ゆるい団体を作ろうと思っていた。

次にOC課の特徴。まず、メンバーは私がfacebookで呼びかけて募集。自主的に参加し、全員fbをやっている女性。鯖江市在住の40～50代が中心で、現在24名が参加。

2つ目に、仕事を持ち、いろんな職業の方が、ゆるく繋がったグループ。知識やノウハウ、アイデアが豊富で刺激を受け合っている。

3つ目に、定例会議を開かない。会費、予算、事業計画、上部組織等もない。何にも縛られない自由な活動を目指している。「こんなことやりませんか？」と、メンバーがやりたいことや外部からの依頼をカキコミし、意見交換を経て実施。

4つ目に、メンバーは中々一堂に集まらず、fbの非公開グループの意見交換が中心。自分の都合の良い時にのぞいて参加。

5つ目、「無理がかからないように」と、いつも気にかけている。イベントもやりたい人、出来る人が、出来る時に出来る範囲でやる方針。

■これまでの活動とJK課と合わせた相乗効果

これまでの活動について紹介する。

主なものは配布資料に記載。資料は鯖江市市民協働課の方と協力して作ったパネルの原稿。ほとんどの活動が、他団体や行政とコラボしている。

中でもこの「イクメンのためのトイレの改善に関する提言」は、最初の活動にしてインパクトが大きかった。ずいぶん取り上げられた。TBSの“あさチャン”という番組は、3日間取材。素敵に放送。全国から反響があった。

次に、最初に触れたJK課と合わせて、効果について。昨年4月にJK課。6月にOC課を立ち上げた。すぐに、名前と活動のユニークさで、多方面から注目された。

今は、一度オンラインニュースに出ると、ネット上ですぐ拡散される。試しに「OC課」で検索してビックリ。

でも、市民活動が活発な鯖江市の元気を全国に発信できて、嬉しく思う。市への視察・問い合わせも多数寄せられている。

そして、何と、来年度の高校現代社会教科書副読本の表紙と裏表紙に、写真入りでそれぞれ紹介されている。これには、びっくりした。

また、内閣府の地方分権改革推進室が、この12月に発行した「地方分権改革事例集」という冊子にも、写真付きで紹介されている。

さらに、各種会議やフォーラム等にJK課やOC課が参加することで、女性の参加が増えた。行政等の各種委員として女性の参加を求められる時、メンバーに募集をかけ、新しい人材を送り出せた。充て職でなく自発的に委員になる。これは画期的な事。

これからも、「仲良く楽しくワクワクを共有する、頼りになるおばちゃん集団でありたい」と思う。女性の視点と発想、ネットワークをいかして、いろんな世代や団体と手をつないで、鯖江を元気に住みよいまちにしていきたい。その活動を通して、女性が楽しく輝いて社会参加できる機会とし、元気さばえを発信していきたい。支援願いたい。

